

# 週替わりで一息！

第2033例会（第44版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

**小満（しょうまん）** あらゆる生命がしだいに満ちていく時期のこと。桑の実など山野の植物は花を終えて実を生らせる。梅雨前のひととき太陽の光を浴び、万物がすくすく成長していく季節です。 歴生活・日本の暮らし七十二候より

22

**初候「五月二一日～五月二五日」竹蚕起食桑（かいこおきてくわをはむ）**

**「蚕が桑を盛んに食べ始める」** 蚕が、桑の葉をたくさん食べて成長する頃。木葉採月（このほどりづき）は蚕の食べる新鮮な桑の葉を採る月の意です。成長した蚕が、最後に猛然とした食欲で桑の葉を食べると、いよいよ糸を吐いて繭を作り始めます。かつて絹産物は、日本の重要な産業のひとつでした。農家は蚕の世話と田植え、そして地域によっては麦の収穫も重なって、忙しい時期でした。「猫の手も借りたい」という言葉はここからきており、猫は大切な蚕をねずみから守ってくれることから、実際に猫を貸し借りすることもあったようです。、繁栄をもたらすことから蚕のそばにいて、大事にされていた猫にも福を招くイメージが重なり、絹産業が衰退した後、商売繁盛の縁起物としてまねき猫のかたちになって、今日に続いています。 歴生活・日本の暮らし七十二候・和暦コラムより

**次候「五月二六日～五月三一日」紅花栄（べにばなさかう） 23**

**「紅花が盛んに咲く」天然の紅の素材、** あたり一面に紅花が咲く頃。紅花は古代エジプト時代から染料として利用されてきました。花びらの水に溶ける黄色の色素と、水に溶けない赤の色素から、紅色がつくられます。江戸時代の女性の憧れの逸品でした。

「本日5月13日の金曜日」「私のロータリーモーメント」余談 三国祭”次年度ガバナー補佐”



■ロータリーの目的は、「奉仕の理念」の奨励・育成にあり、具体的には、一人一人が個人として、事業及び社会生活において日々、奉仕の理念を实践すること、と示されています。ロータリー運動は奉仕による幸福追求運動である。■



一九・二〇・二一日は三国祭り



本年度幹事報告・次年度幹事報告 四つのテスト！

「今日の逸品」